

受益者の皆さまへ

DIAMアセットマネジメント株式会社

## 『DIAM J-REITオープン(毎月決算コース)(愛称:オーナーズ・インカム)』の 第90期分配金について

平素は、「DIAM J-REITオープン(毎月決算コース)(愛称:オーナーズ・インカム)」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

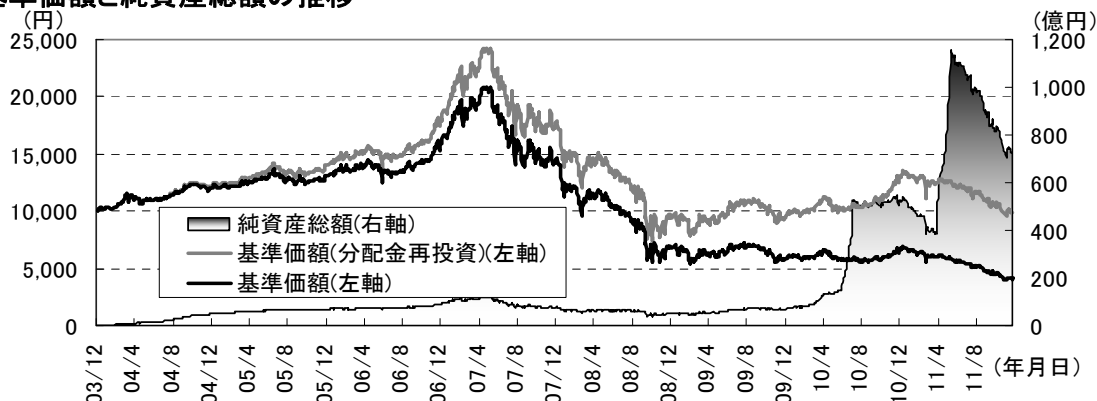
さて、この度、当ファンドは第90期(2011年12月16日決算)の分配金を80円(1万口当り、税引前)に決定しましたのでお知らせ申し上げます。次ページ以降のQ&Aにおきまして、分配金の引き下げの背景等についてご説明させていただきますので、ご参照の程、お願い申し上げます。

### ■分配実績

決算期	決算日	分配金(1万口当たり、税引前)
第1期～第4期	2004年7月16日～2004年10月18日	30円
第5期～第10期	2004年11月16日～2005年4月18日	40円
第11期～第28期	2005年5月16日～2006年10月16日	60円
第29期～第56期	2006年11月16日～2009年2月16日	100円
第57期～第71期	2009年3月16日～2010年5月17日	80円
第72期～第89期	2010年6月16日～2011年11月16日	100円
第90期	2011年12月16日	80円
累積分配金		7,320円

※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
 分配金が支払われない場合もあります。

### ■基準価額と純資産総額の推移



期間: 設定日前営業日(2003/12/24)～2011/12/16

※上記運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ※基準価額(分配金再投資)は税引前の分配金を再投資したものと計算しておりますので、実際の基準価額とは異なります。  
 $\text{分配金再投資後基準価額} = \text{前日分配金再投資後基準価額} \times (\text{当日基準価額} \div \text{前日基準価額})$   
 (決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)

※基準価額は信託報酬控除後です。

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

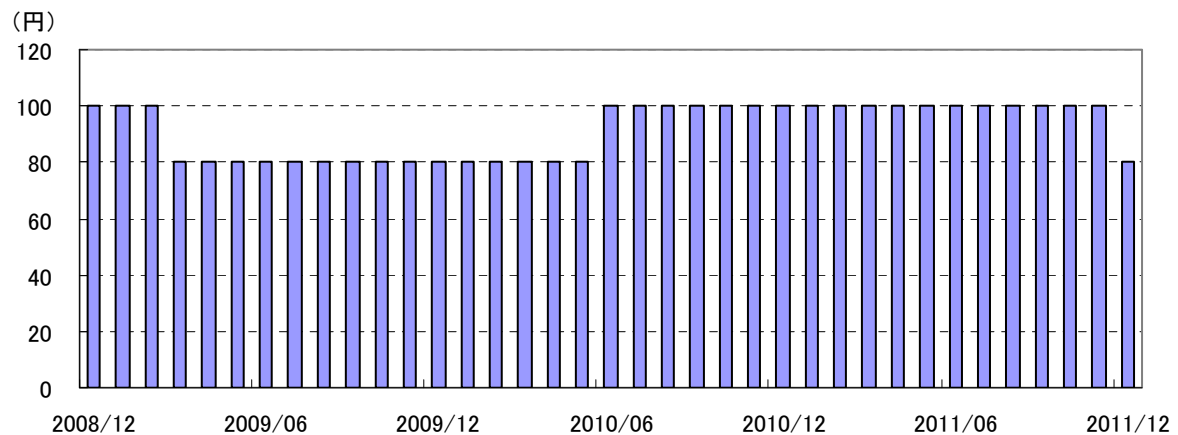
## Q1.分配金を引き下げた理由は何ですか？

世界的な景気の先行き不透明感や欧州債務危機の拡大を受け、投資家のリスク回避姿勢は高まっています。日銀による J-REIT の買入も継続的に実施されているものの、売り優勢の状況は変わらず、J-REIT 市場は軟調に推移しており、この結果ファンドの基準価額が大きく下落することとなりました。

### ■過去3年間の基準価額(分配金落ち後)の推移(2008/12/1～2011/12/16)



### ■過去3年間の分配金額の推移(第54期(2008/12/16)～第90期(2011/12/16))



※上記運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 ※基準価額は信託報酬控除後です。  
 ※分配金額は税引前の値です。

このような投資環境や足元の基準価額水準などを総合的に勘案した結果、第90期の分配金を80円に引き下げることにいたしました。

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

## Q2.足元の J-REIT の市場状況を教えてください。

足元の J-REIT 市場は、下落基調が続きました。欧州債務危機の深刻化を受け、リスク性資産回避の動きが続き全般的に低迷する中、J-REIT も投資信託などのファンドの解約や機関投資家の売却による売り圧力が続いたことや、日銀が J-REIT 買い入れを実施したものの、11 月の 1 回当たりの買い入れ金額が 7 億円にとどまったことから失望感もあって、上昇要因もないまま売られる展開が続きました。一部の銘柄での底堅い決算発表など、ポジティブなニュースもありましたが、金融環境の悪化により投資家の見送り姿勢が強まったことから、売買が細りました。米国の年末商戦の順調な滑り出しを受けて他の市場が反発したものの、J-REIT 市場の戻りは限定的でした。

### ■東証 REIT 指数(配当込み)の年初来推移(2011/1/4~2011/12/16)



※出所: Bloomberg より DIAM 作成。

※東証 REIT 指数は、東証の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証 REIT 指数の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、同指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

※当資料は 7 枚ものです。P7 の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

### Q3.今後の見通しおよび運用方針について教えてください

#### 《今後の見通し》

11月30日に日米欧の中央銀行がドル資金の供給対策を発表したのと同時に、中国人民銀行も預金準備率を引き下げたことを好感し、12月初旬からREITや株式市場等は大きく反発しています。しかし、欧州債務危機に関しては依然不透明感が強く、買い戻しの動きが一巡すれば、各市場は再び見送り姿勢に戻る可能性がありますと見ています。J-REIT市場につきましては、海外投資家やJ-REITを組入れたファンドの解約による売却圧力が残るものの、12月に入ってから、需給的な圧迫要因にも若干緩和される動きが見られ、下落に一服感が出ています。一段の下落リスクとしては、欧州債務危機が更に拡大し、金融機関の破綻懸念などクレジットリスクが急拡大した場合に世界的なリスク回避の行動が加速することが挙げられますが、そのような局面では日銀の積極的な行動にある程度期待していいと見ています。また、投資環境が落ち着けば、J-REITの高い配当利回りの優位性に着目した資産の流入も期待できます。不動産ファンダメンタルズですが、J-REITが保有する優良物件は、空室率・稼働率が改善傾向にあり、募集賃料の下げ止まり感も出てきています。また、金融機関の融資に対する姿勢も緩和されており、J-REITが物件取得を積極的に行えるひとつの要因ともなっています。

#### 《運用方針》

割安感の強い低位銘柄の再評価が続くと見て、純資産価値やREITが保有する物件が創出するキャッシュフローをベースにした価値から判断して、割安感の強い銘柄を中心に用途をバランス良く分散しながら投資を行う方針です。また、一部の銘柄では、引き続き賃料が低迷する状況下において世界的に比較しても割高と思われる銘柄もある為、より割安な銘柄へのシフトを心掛ける方針です。

財務状況が大きく改善している再編関連で割安感の強い銘柄については、積極的に高い配分を維持する方針です。

### Q4.当ファンドの買付け申込の受付を再開することはありますか？

Q2にある通り、J-REIT市場は時価総額が減少し、流動性も以前より低下しております。今後はJ-REITの市場環境や流動性が好転するかを見極めた上で、当ファンドの純資産総額等も総合的に勘案して、お買付けのお申し込み受付の再開時期を検討してまいります。

以上

※上記の見通し及び運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

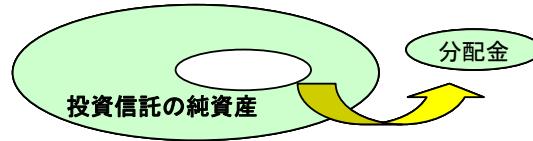
## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

## 投資信託の収益分配金に関するご説明

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

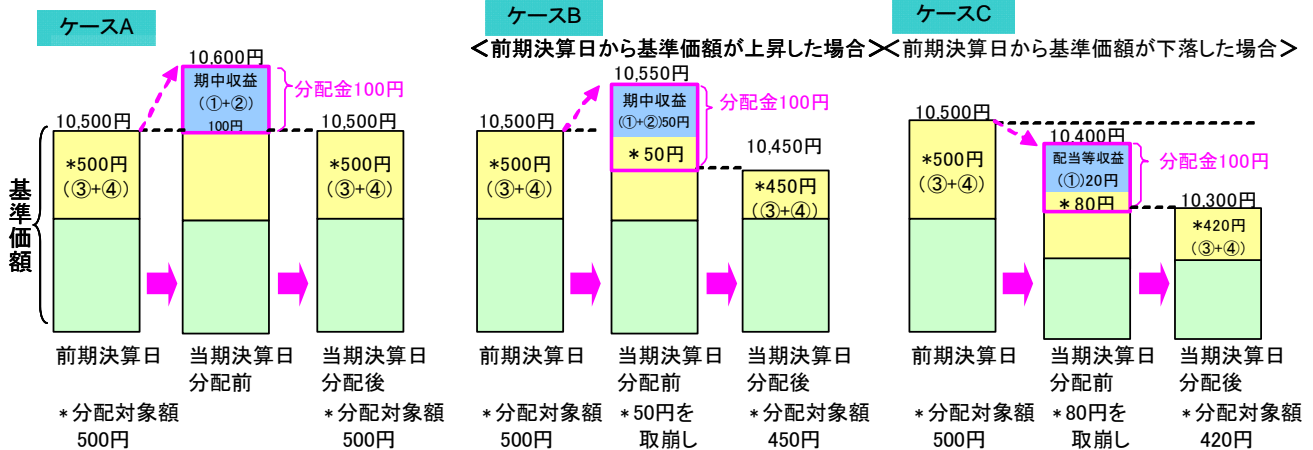
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円  
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円 = 50円  
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円 = ▲100円

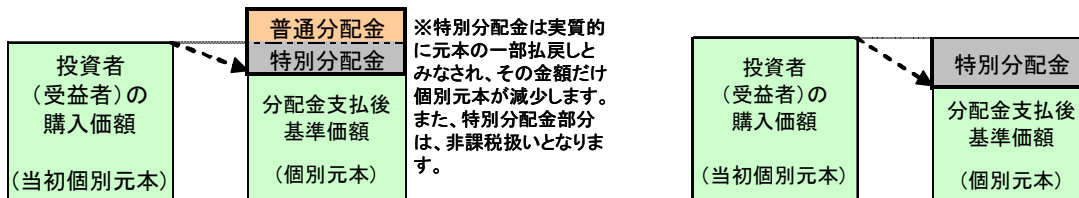
★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金:** 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**特別分配金:** 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、特別分配金の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

# DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

【主なリスクと費用（くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）】

《主なリスク》

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

その他留意点など、くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

○J-REITの価格変動リスク …実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

○金利リスク…一般的に金利が上昇するとJ-REITの価格は下落します。当ファンドは、実質的にJ-REITに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

○信用リスク…実質的に投資対象とするJ-REITが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

○流動性リスク…実質的に投資したJ-REITによっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

《お客様にご負担いただく費用について》

※ 以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

●購入時	
購入時手数料	購入価額に3.15%（税抜3.0%）を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
●換金時	
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
●保有期間中（信託財産から間接的にご負担いただきます。）	
運用管理費用（信託報酬）	信託財産の純資産総額に対して年率1.05%（税抜1.0%）を日々ご負担いただきます。
その他費用・手数料	組入る価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用等が信託財産から支払われます。（その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。） ※なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

**【本資料のお取扱いについてのご注意】**

- ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。
  - ・ 当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
  - ・ 投資信託はJ-REITなどの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  - ・ 当資料は、DIAMアセットマネジメント(株)が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の市場動向を示唆および運用成果を保証するものではありません。
  - ・ 当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年12月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。また、将来の市場動向を示唆および運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は
1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

弊社ホームページにて当ファンドに関する情報をご提供させていただいております。  
ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

**DIAMホームページ** <http://www.diam.co.jp/>

**DIAMコールセンター** 0120-506-860

(受付時間：午前9時～午後5時。除く土、日、祝祭日。)

---

※当資料は7枚ものです。P7の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

**DIAMアセットマネジメント**

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会